

未来社会のあるべき姿からみた 経営教育の展望

日本学術会議 学術フォーラム
「AI活用時代における経営教育の変革」
2025年3月1日
神戸大学大学院経営学研究科 上林憲雄



2030年の社会のあるべき姿



人づくり(インクルーシブ社会)

働く人々も、高齢者も、子供も、障害者も、
ロボットまでもが互いに協同し共生していく社会

地域づくり(コネクティッド社会)

地域住民がICTを活用し、地域のコミュニティと常に
連携し、孤立せずにいつでもどこでも協力し合える社会



産業づくり(トランスフォーム社会)

金融・決済や流通・運輸、一次産業、ものづくり、
サービス業などがICTやAIの恩恵を受け、
市場環境の変動に瞬時に対応しつつ発展できる社会

2030年の社会のあるべき姿

人づくり(インクルーシブ社会)



産業づくり(トランスフォーム社会)



地域づくり(コネクティッド社会)



国民の安全と安心を確保する
持続可能で強靱な社会および
一人ひとりの多様な幸せ(**Well-being**)が
実現できる社会

(第6期 科学技術・イノベーション基本計画(閣議決定)2021年3月)

- ・ 社会の構成員**一人ひとりの多様な価値観**の尊重
- ・ **地域社会とのつながり**を保ちつつ精神的な豊かさを追求
- ・ 産業の発展によって**物質的な豊かさ**をも享受しえる

持続可能な社会

必要となる経営人材のイメージ

セキュリティや人権、
格差拡大などの問題回避



技術のポジティブな
恩恵を享受



理想的な社会をわれわれ自身で構想し、創造し、実現し、
常に見直していく姿勢を社会の構成員各々が共有すべき



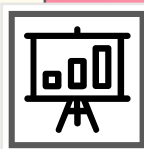
われわれの社会にとって何が望ましいことであり、
何が望ましくないことであるのかについて、
主体的に感じ取り、価値判断を行い、選ぶ取ることが
できる経営人材の育成が急務に！

これからの経営人材の育成に向けて

- ・「経営学」＝イイコトをうまく行うことを追求する学問
- ・学史的にみれば、学問の生成初期は「イイコト」の追究、その後、利益追求は大前提とし「うまく」（効率的に）行う方途を追究してきた



規範・価値の教育（「イイコトは何か」の教育）に立ち戻る必要性



短期成果，目に見える結果のみに惑わされないこと



経営学の体系の再構築（各個別領域間の融合，再編成）



高等教育と初等中等教育との有機的連携